



まち・川・緑とともに
大和川線

整備効果

臨海部～内陸部間の代替道路の整備

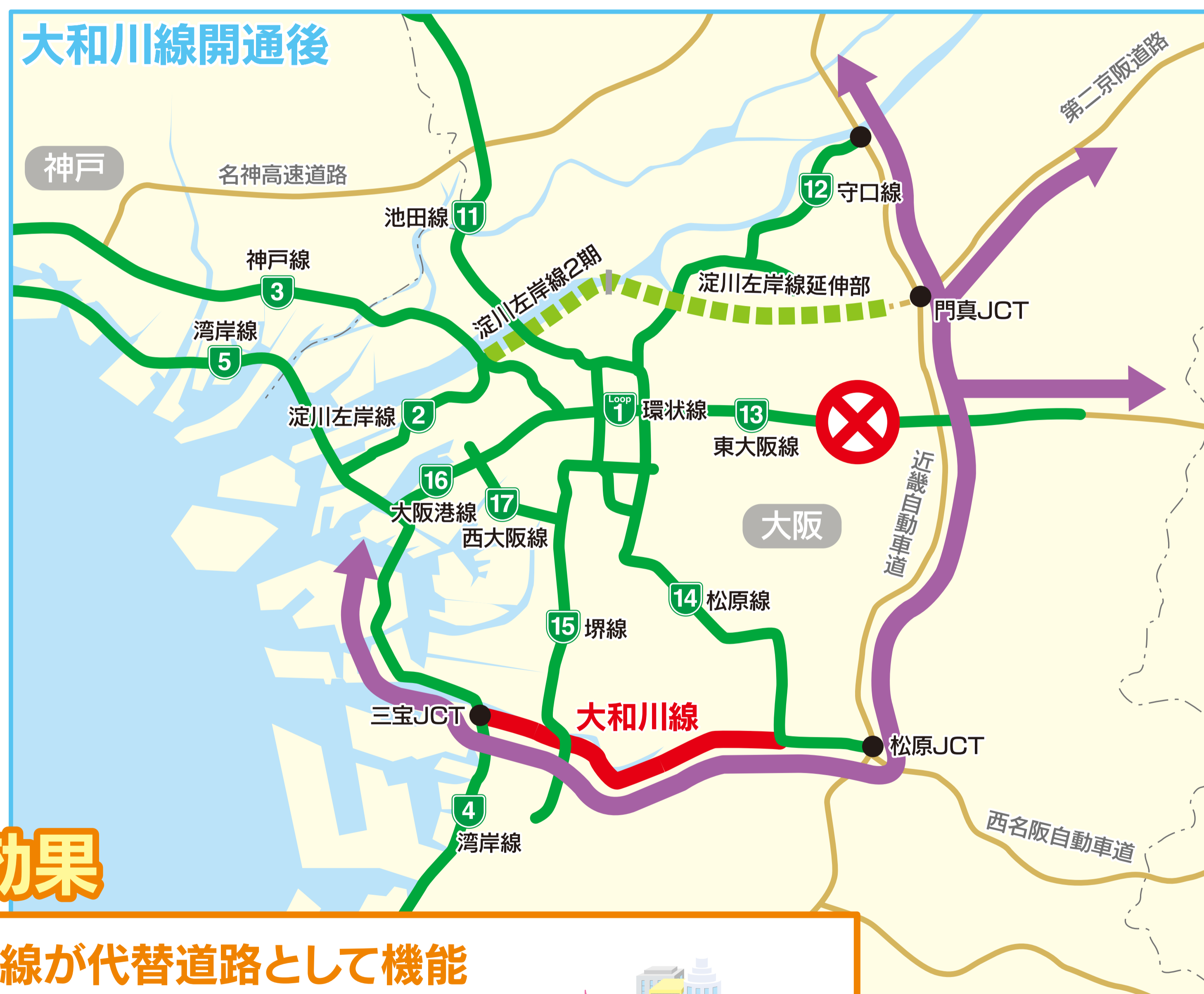
事故・災害等による通行止めを回避するルート選択が可能に



課題

代替ルートが乏しく 通行止めなどに弱い

現在、臨海部と内陸部を行き来するためには、13号東大阪線や16号大阪港線を使う必要があります。しかしそれらの高速道路で事故や災害、工事などによる通行止めが発生した際に、迂回ができる高速道路がないため、通行が困難になります。



整備効果

大和川線が代替道路として機能

大和川線が開通すると、臨海部～内陸部の高速道路で通行止めが発生した際でも、大和川線が代替道路として機能します。通行ルートの選択肢が増えるため、大和川線は通行止めに近いネットワークを形成します。

